

平成26年8月1日

経営支援課伝統産業振興室

TEL:076-225-1526 (内 4465)

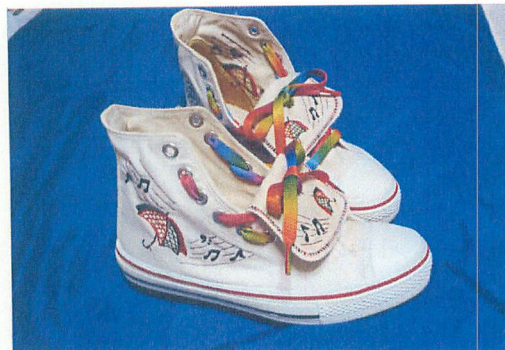
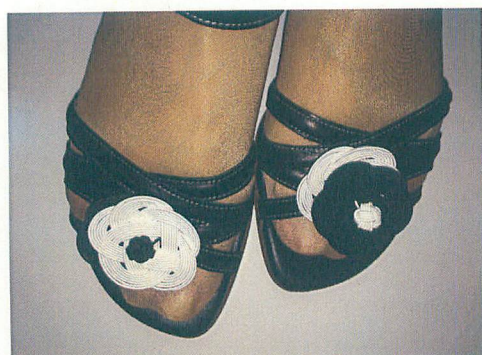
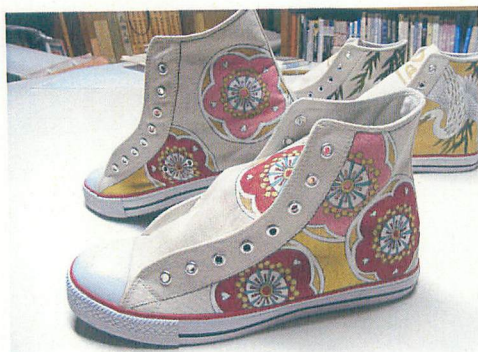
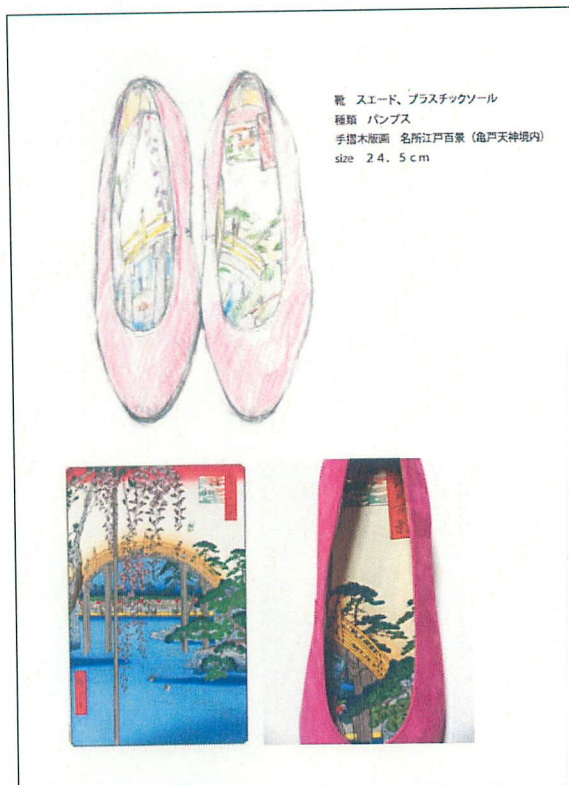
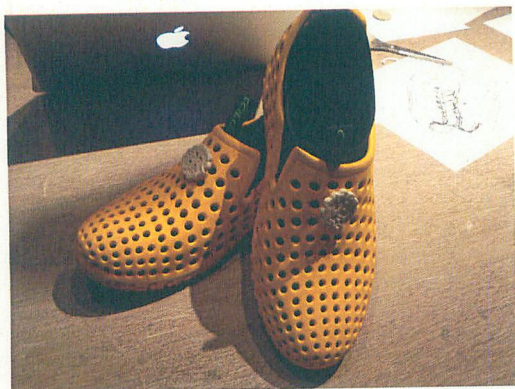
石川県立伝統産業工芸館

「工芸館 フットウエア・コレクション 2014」

取材のお願い

石川県立伝統産業工芸館では、企画展「工芸館 フットウエア・コレクション 2014」を下記の通り行います。足元のオシャレに伝統工芸の技術がどのように生かされるのか、その可能性を見て頂く事を意図した企画展です。ぜひ取材して頂けますようお願い致します。

- ◆ **タイトル：** 「工芸館 フットウエア・コレクション 2014」
- ◆ **開催趣旨：** 伝統工芸の技は果たしてどこまでその領域を広げていくことが出来るのか。この企画展はそれを実証するための実験の場となることを目的としている。作り手にとっては、工芸というスパイスを加える事で、いかに日常生活で普通に履いているフットウエアをグレードアップさせることが出来るかという挑戦、使い手にとっては、それぞれの工芸分野について知ると同時に「工芸」を身につける楽しみを感じる機会となる事を目指している。
- ◆ **企画展紹介：** 出展者は、全国から集った、漆・陶芸・水引・染・編み・加賀毛針・加賀繡などの作り手 23名 22組。それぞれの作り手の明確な制作意図を記したコメントとともに作品を提示する事により、見る人（使い手）に、新たな足元のオシャレに挑む工芸を楽しんで頂きたい。又、最終日には、「フットウエア・コレクションショー」を 15:30 より行い、履いた姿を見て頂く。
- ◆ **会期：** 2014年7月31日（木） - 9月30日（火） 最終日は 15:00 まで
- ◆ **会場：** 1F エントランスホール展示スペース
- ◆ **展示品：** 約 50 点
- ◆ **「フットウエア・コレクションショー」：** 実際に履いてみたらどうなるかを見て頂くためのファッションショーを 9月30日 15:30 より行う。モデルはもちろん出展者が務める。
- ◆ **出展者**（敬称略、あいうえお順）：それぞれの略歴については最終ページ参照。
安達七佳、井上昭光、大田正伸、北村沙希、木下富雄、国本夏紀、小林亜弥香、齊藤秀輝、島田章生・出口瑞花、高橋由貴子、武部徹、中嶋丈男、中西淑子、長原久美子、引持玉緒、久恒俊治、廣瀬由利子、宮崎岳志、目細勇治、森内瑞恵、山谷尚敏、吉岡正義
- ◆ **併催イベント**
出展者によるワークショップを予定しています。詳細は、決定後工芸館 HP でお知らせします。



問合せ及び取材申し込み先：

石川県立伝統産業工芸館 <http://www.ishikawa-densankan.jp/>

TEL：076-262-2020

指定管理者ナカダ・クラフトプロジェクト

プログラム担当：館長代理 柳井 篤子

携帯 090-3470-2469 E-mail: 707@nkdinc.co.jp

< 資料 1 出展者コメント > 敬称略・あいうえお順

- ・ **安達七佳**： 今回の展示作品で使用したスエードもそうですが、私は創作活動の媒体としてテキスタイルを使っています。私たちは布に触れなくてもそれが温かく柔らかいのか、パリッとしていてひんやりした素材なのか見るだけで感覚的に感じるすることができます。また、ときに箆笥に眠っていた思い出の服や洗い立てのシャツが持つそれ特有の匂いは、色々な思いを巡らすのに十分なこともあります。見る人の五感に働きかけ、豊かな情報を伝えることができる素材を使うことで、ことばを越え、人と人をつなぎ、人と思いを紡ぐ作品を作っていきたいと考えています。
- ・ **井上昭光**： ぞうりとわらじは古来より戦後まで日本人の日常不可欠な履物でした。私が生まれ育った熊本県八代市はい草の産地として全国一を誇ります。八代産い草を縄にして編んだぞうりとわらじは吸湿性・抗菌性に優れているために衛生的で、藁ではできない直径3mmの縄ができ、キメの細かい製品になります。またその縄目が足裏を適度に刺激してツボ押し効果もあります。い草の香りと感触をぜひ使って感じてください。
- ・ **太田正伸**： 友禅スニーカー「鷺」「ドット梅」は、着物と同じ工程で制作しています。下絵→のり置き→彩色→水元（友禅流し）。花鳥風月からデザイン的なものまで取り入れました。手彩色ならではの自由な配色、スニーカーの内側と外側の色の違いなど、踏み出したときのイメージの違いや本物の加賀友禅スニーカーをお楽しみ下さい。もちろん、水洗い可能です。
- ・ **北村沙希**： 普段は布に型染の技法を使い染色しています。今回は木の下駄に型染をほどこします。日本の伝統的な履物に昔からの技法を用いて今の生活に向けた模様を染めたいと思い下駄を選びました。
- ・ **木下富雄**： 木工の轆轤を使い一部に使用しました。ロクロはどんなもの？どんな使い方するの？とわかってほしい。立体的で周りの人の目を引いて楽しんでもらえたらなと思います。
- ・ **国本夏紀**： わたしは雨の日が好きではありません。でも可愛いスニーカーを履いていると不思議と気分が晴れてゆくのです。雨の日、傘をさして歩き出す。少し気分が落ち込んで、つい下を向いてしまう。そんな時、お気に入りのスニーカーが目に入るとうれしくなる。ふっ、とつい顔が緩んで心が軽くなり、気分も顔も上がっていく。そんな気持ちを誰かと共有したくて、世界でたった一つのスニーカーに込めました。
- ・ **小林亜弥香**： 手描き友禅染を施し、金沢箔を贅沢に用いたパンプスです。染め柄と、羽や旗などの飾りとのハーモニーは、靴に直接柄を描くことによって可能になる「世界に一つだけ」の楽しみです。靴の表面だけでなく飾りにも染め・箔を施し、一体感のあるデザインを目指しました。「Feather」は飾りを取り外してブローチ／クリップとしてもお使い頂けます。「Triangular」は旗のアンクレット付きです。サイズ違い・柄リクエストによるオーダーもできます。
- ・ **齊藤秀輝**： 靴を履くという実用性と、靴を履かないという非実用性。履いて歩くという楽しみ方と、飾って見るという楽しみ方。作り手の思いが、使い手に届く確立は非常に低く、多くは使い手の意思に従うのみである。さあ、思うように楽しんで！手に入れた人だけに許される独自の楽しみ方を、私たちの生み出した無機質な物に、『楽しさ』という命を吹込んで。さあ、飛んで行け！！！！

- ・**島田章生/出口瑞花**： 海の中を優雅に軽やかに泳ぐ二体のマーメイドをイメージし、このスニーカーを履けばマーメイドの様に歩いたり走ったりする事を感じて(想像して)着ればと思い作成いたしました。
- ・**高橋由貴子**： 「浮世を歩こう」ー「浮世」とは「現代風の」といった意味があります。浮世絵版画は当時の江戸の人々の日常の生活や風物などの切り取り描いています。その絵は大衆の文化の一部でした。今作では、現代の女性が日常的に使用する現代の靴に江戸の頃から変わらない技法で制作した浮世絵版画を組み合わせてコラージュしてみました。江戸の文化に思いを馳せて、江戸時代から続いてきた道を歩くのも楽しいかもしれません。
- ・**武部 徹**： 「桜」は、桜の咲く時期のわくわく感をスニーカーを履いた時に感じられる様に桜をシルエットで描きました。バックの黄色も花のイメージで水色は空を表現しました。「ロボット I」は、自然の植物と人工的なロボットがいつまでも共存している姿を表現しました。「ロボット II」は、先端技術の未来に期待を込め、ロボットが宇宙空間を浮遊しているイメージです。
- ・**中嶋丈男**： 革に刻印で彫刻をしレース編みをしました。
- ・**中西淑子**： かわいい!を目指しています。私自身が履いてみたい、こんなの欲しかった、をテーマに作っています。また、使うのであれば、できるだけ丈夫なのがいいなと思い、コーティングしてあります。加賀友禅の技術をもとに、現代に合った「今っぽさ」を追求しています。
- ・**長原久美子**： 刺繍は絹糸と透明なアクリル糸を撚りあわせてあります。それにより、汚れた場合、濡らした布で押さえても絹糸を傷つけず、毛羽立つのを防いでくれます。足元をちょっとリッチに、自分だけのスニーカーを楽しんで下さい。履く前に防水スプレーをお忘れなく。
- ・**引持玉緒**： 「セレブ__ビーサン」 **URUSHI BIJOU**
この夏、どこへでも気楽に履いていきたい「セレブ__ビーサン」。パンプスやフェミニンシューズと合わせたくなるお出掛けコーデにも、古臭くなく今年流のこなれファッションが楽しめる!何より楽チンで、夏しか履けないビーサンを気の張る場所に履いていく時には、+「URUSHI BIJOU」大人のビーサンはTPOで着替えるのです。
- ・**久恒俊治**： これまで着物をお作りしてきたノウハウを活かして、友禅の工程はそのままに、木にも友禅染めを施しています。時代に合わせてモノも伝統技法も少しずつ変わりゆくなかで、それでも変わらない和の美しさを感じて頂けると幸いです。「今ノスニーカー」山々の連なりとともに右足が犀川、左足が浅野川をそれぞれイメージして描きました。どこまでも歩いてゆける旅路のお供にいかがでしょう。「昔ノスニーカー～紳士用～」コウモリは夜でもぶつからないことから、ケガ無く歩けるよう願いを込めて描きました。「昔ノスニーカー～婦人用～」毒虫を食べることから邪気を払う意味を持つクジャクの羽を描きました。悪い虫がつかないように。
- ・**廣瀬由利子**： プレーンなパンプスやサンダルにちょっとだけ遊び心を加えて楽しんでもらえるように作ったシューズクリップです。色違いを何個か並べてお花畑にしたり、左右デザイン違いで楽しんだり、パンプスやサンダルだけではなく、スニーカーの紐にひっかけて、オリジナルデザインで履いてみるのはいかがですか。
- ・**宮崎岳志**： 今回初めて「靴」を作りました。自分で染めた布を靴に仕立てるという発想は今までなかったので、とても新鮮な感覚で取り組むことができたと思います。靴を作るにあたり「足元」という過酷な状況を鑑み、生地は綿の平織布を、染色は柿渋を用

いてタン部は無地に、アッパー部は型染めの技法で笹柄を柿渋両面染めにしています。この制作を通し改めて、「できるできないではなく、やってみる」という初心を思い起こさせて頂きました。

- ・ **目細勇治**： 今回、足元を飾る作品ということで、まず丈夫でなくてはならないと思いました。羽根は繊細で形がくずれやすいので、製作においてその点に気を使いました。足元に羽根の装飾ということで、軽やかで伝統工芸の重いイメージでなく、夏のカジュアルなイメージで製作しました。もちろん繊細な加賀毛針そのもの（安全の為針ではありません）もワンポイントになるように作品に取り付けました。
- ・ **森内瑞恵**： 加賀友禅の技法で、着物～スニーカーにまで展開することはチョット前までは考えもしないことでした。スニーカーの立体のものに直接絵を描くことも私には刺激的な冒険でしたし、ここまでカジュアルなものには、「どんな模様がいかしら？」と花の表現と色使いの試行錯誤は続いています。加賀友禅の技法で、ワクワクしながら模様を染めた楽しさが皆さんにも少しでも伝わればと思います。
- ・ **山谷尚敏**： 漆塗りスニーカー。本来漆を布に塗ると硬く固まってしまう。漆が硬くならない工夫をし、スニーカーとして用を成す形に仕上げた。
- ・ **吉岡正義**： 金沢九谷の五彩を使って絵付けをしたボタンを、ワンポイントでスニーカー、サンダルに付け、伝統工芸を生活の一部として使えるようにデザインしました。「シンプルと華やかさの同居」をテーマにこの形に落とし込み、華美になりがちな工芸をシンプルにしました。普段の生活の中に金澤らしさを取り入れ、ファッションとして九谷焼を見て、触って、使って頂ければと思います。

< 資料 2 出展者プロフィール > 敬称略・あいうえお順

・ **安達七佳 (ADACHI Nanaka)**

1983 東京都生まれ

2005 東海大学北欧学科卒業

2012 ヨーテボリ大学芸術学部工芸科テキスタイルアート専攻卒業

現在、東京を拠点に作品制作を行っている。

2011年以降の主なプロジェクト・作品展

2011 **TEXTILELI** テキスタイルアートビエンナーレ (カウナスピクチャーギャラリー及びアクロポリス、カウナス、リトアニア)

2012 **FÖRFEST** (ヨーテボリ大聖堂、ヨーテボリ、スウェーデン)

ヨーテボリ市立バレエアカデミー 春公演 舞台衣装・小道具担当

ダンス公演 *Hemma-borta-hem*、フロールンダ文化会館、ヨーテボリ

スウェーデン 株式会社 Hans K (ハンスコー) と共同プロジェクト製作

2013 個展「As an observer 傍観者のように」 Tür aus Holz von neben Strand、神奈川、日本

Shanghai International Student Expo 2013、上海、中国

2014 巡回展「vi och ni som undrar varför」 Olofsfors、Umeå (2012～)

・ **井上昭光 (INOUE Akimitu)**

1947 熊本県八代市生まれ

1966 熊本県立八代農業高校卒業

- 1994 有限会社井上産業を設立し、八代地方の特産であるい草を原料として「い草縄」を開発、造園用の竹とい草縄の販売も始める。
- 2001 鉄道車両デザイン 水戸岡鋭治氏の(株)ドーンデザイン研究所の目に留まり、九州新幹線800系車両にい草縄暖簾が採用される。
- 2013 観光列車七つ星にい草縄暖簾が採用される。(夏期)
- 2014 東急ハンズ熊本店で夏の商品として採用される。「い草縄暖簾」
- 現在、い草縄をつかって、草履、わらじ、のれん・ついたて・ござ・ねこぶく・竹炭・い草入り枕・椅子などを「い草縄工房」のブランドで商品開発を進めている。

受賞歴

- 1999 熊本県物産振興協会優良新商品銀賞を受賞 「いやしマット」。
明治神宮にも奉納。
- 2003 第21回 ぐらしの工芸展 2003 特別部門三席 「い草縄カーテン」
(主催：熊本県伝統工芸館・熊本日日新聞社主催)

・太田正伸 (OTA Masanobu)

- 1963 石川県能登町生まれ
- 1984 金城大学短期大学部美術学科日本画コース卒業
- 2008 伝統工芸士認定

現在、伝統工芸展など展覧会活動をしながら着物や帯を制作。又、加賀友禅の職人や作家による平成友禅商店というグループ活動を行い、卓布、名刺入れなど小物を制作販売しています。

受賞歴

- 2004 第26回加賀友禅技術保存会「銅賞」
- 2007 第33回加賀友禅新作競技会「中部経済産業局長賞」
- 2008 石川の伝統工芸展「奨励賞」
- 2011 第33回伝統加賀友禅工芸展「銅賞」
- 2013 第39回加賀友禅新作競技会「金沢商工会議所会頭賞」

個展・グループ展

- 2010 金沢クラフト グループ展「芽吹き」
- 2011 金沢クラフト 「太田正伸・定池隆志2人展」
- 2013 震災復興支援「千人筆のれん」東北へお嫁入展

・北村沙希 (KITAMURA Saki)

- 1984 石川県生まれ
- 2003 金城大学短期大学部美術学科 染色・ファッションコース 卒業
- 2009 金沢卯辰山工芸工房 染工房 修了

現在金沢市内で製作活動中

受賞歴

- 2011 第50回日本現代工芸美術展 現代工芸新人賞
第66回現代美術展 入選
- 2013 第52回日本現代工芸美術展 石川展 テレビ金沢社長賞
- 2014 第53回日本現代工芸美術展 現代工芸賞

個展・グループ展

- 2011 石川伝統産業工芸館 企画展 「てぬぐい WONDERLAND」

金沢・クラフト広坂 グループ展（～2014年 年1回開催）

・木下富雄 (KINOSHITA Tomio)

愛知県名古屋市出身。

2004 石川県立山中漆器産業技術センターに入所、木工ロクロ、漆を学ぶ。
現在、加賀市山中温泉にて木地、および作品制作をおこなっている。

受賞歴

- 2006 金沢城・兼六園大茶会展入選。
- 2007 日本伝統工芸石川支部展入選。
- 2008 高岡クラフト展特別賞受賞。
- 2010 「サッポロビアマグランカイ8」入選
- 2012 高岡クラフト展特入選

主な個展・グループ展

- 2009 「秋のコレクション」 加賀市ギャラリー萩
- 2012 「金沢からお正月」 松屋銀座
- 2013 「加賀の轆轤・能登の漆二人展」 名古屋薔薇館
- 2014 「生活工芸・金沢」 代官山 T-SETE ガーデンギャラリー
「木下富雄 ろくろとうるし」 名古屋三越星ヶ丘

・国本夏紀 (KUNIMOTO Natsuki)

- 1986 山口県生まれ
 - 2011 京都造形芸術大学通信教育部芸術学部デザイン科情報デザインコース入学
現在在学中
- 社会人大学生をしながら作品制作を行っている。

・小林亜弥香 (KOBAYASHI Ayaka)

- 1986 兵庫県生まれ
 - 2009 京都市立芸術大学美術学部 染織専攻 卒業
 - 2011 金沢卯辰山工芸工房（-2013）
- 現在、群馬県にて作品制作を行う。

受賞歴

- 2011 第17回 真綿のビジュアル・アート 大賞
第51回 日本クラフト展 奨励賞
- 2012 第27回 日本ジュエリーアート コシノヒロコ賞
第39回 石川デザインコンペ 金沢市長賞
- 2014 第28回 日本ジュエリーアート 奨励賞

個展・グループ展

- 2012 軽井沢 NEW ART MUSEUM 個展
松屋銀座 個展
- 2013 染・清流館 新進気鋭作家展（京都）
- 2014 ガレリア・アッカ（東京）個展
石川県立伝統産業工芸会館 企画展「春を染める」

・齊藤秀輝 (SAITO Hideki)

- 1967 秋田県本荘市（現 由利本荘市）生まれ

- 1985 秋田県立由利工業高等学校 工業化学科卒業
 - 2005 ガラスと出会い、創作活動開始。
 - 2008 能登島ガラス美術館にて、ランプワークデモンストレーターとして館内で、実演活動を実施。(現在も活動中)
 - 2009 ジャパンランプワークソサエティに加盟
 - 2010 ジャパンランプワークソサエティ発行の機関誌『ランプワークマガジン』に、『Glass Magic より ランプワークへのヒント』を執筆。(現在も執筆活動中)
 - 2011 田鶴浜中学校と中島中学校で行われた、ガラス体験に講師として参加。
 - 2012 ルミュゼドゥアッシュュ辻口博啓美術館パティシエ・藤井幸治氏との、エキシビジョンマッチに出演 (アメ細工VSガラス細工)
- 現在は、酒器をメインに、アクセサリーや茶道具を作り、細々と生きています。

・ **島田章生/出口瑞花 (SHIMADA Akio / DEGUCHI Mizuka)**

石川県出身

(株)九谷美陶園勤務後

2009 石川県立九谷焼技術者自立支援工房入房

2012 霽窯 (はれがま) 工房を加賀市山代温泉に開房

現在、加賀市を拠点に活動

・ **高橋由貴子 (TAKAHASHI Yukiko)**

東京生まれ

株式会社 高橋工房代表取締役、東京伝統木版画工芸協同組合 理事長、

文化庁認定無形文化財選定保存技術浮世絵木版画彫摺技術保存協会 副理事長

NPO法人 伝統木版画ルネサンス 理事長

受賞歴

2004 文京区長より伝統工芸功労者賞を受賞

2005 東京都知事より感謝状を受賞
文京区伝統工芸会より感謝状を受賞

2012 財務省 IMF 世銀総会準備事務局長より感謝状を受賞
東久邇宮文化褒賞を受賞

活 動

毎年 行政 (文科省、経産省) の要請で小中学校の美術・社会科の授業で伝統木版画の講演及び実技指導

2007 東京都の助成を受け3年の歳月をかけて木版画による絵巻物3種を制作発表

2011~2014 国際交流基金の要請を受け、海外 (タイ・ミャンマー・カンボジア・ラオス・アメリカ合衆国 ボストン、デトロイト) にて伝統木版画の講演及び実技指導

2012 茶道 遠州流の依頼を受け全国合同大会の会場(東京美術倶楽部)における展示 (江戸木版画)を担当

・ **武部 徹 (TAKEBE Toru)**

1968 石川県金沢市生まれ

1989 金城短期大学美術学科日本画コース卒業
加賀友禅作家 杉浦伸氏に師事

1995 第21回加賀友禅新作競技会 伝統的工芸品産業振興協会会長賞

- 1996 第20回石川県伝統産業技能奨励賞
- 1997 加賀友禅作家として独立
- 2008 伝統工芸士に認定される
- 2012 第39回石川県デザイン展で「かがたち」(カードケース)が石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会理事長賞を受賞

・中嶋丈男 (NAKASHIMA Takeo)

- 1970 石川県生まれ
 - 1993 金沢経済大学卒業
 - 1995 手作り市などで出展を始める
 - 2009 映画「お姉ちゃんバラ」主役等の革衣装制作
 - 2011 靴制作のため大阪の靴学校へ
 - 2012 百貨店等へ納入する靴メーカーで修行
 - 2013 石川県白山市に戻り制作活動
- 革のバッグ、財布、ウエスタンハットまで作っています。石川県初の靴教室を開くために準備中です。

・中西淑子 (NAKANISHI Sumiko)

- 1972 石川県金沢市生まれ
- 1991 石川県立工業高校デザイン科卒業

・長原久美子 (NAGAHARA Kumiko)

- 1944 東京都生まれ
- 2000 加賀繡伝統工芸士に認定
- 2004より現在まで、石川県伝統産業工芸館運営委員を務める
- 現在、金沢市で制作活動を行っている

受賞歴

- 1997 第21回石川県伝統産業技能奨励者表彰
石川県伝統産業振興協議会会長賞受賞

- 2007 全国伝統的工芸品公募展入選

- 2008 全国伝統的工芸品公募展入選

- 2010 金沢市伝統産業貢献者表彰

- 2011 石川県伝統産業功労賞受賞

個展・グループ展

- 2001 加賀藩三代目藩主利常の奥方・珠姫が婚礼に着用した打掛「水仙唐花模様繡小袖」(国重要文化財)の復元に参加

- 2006 石川県加賀刺繡組合主催「加賀繡展」に出品(ニューヨーク国連本部大西ギャラリー)

- 2012 「加賀繡 A to Z」(石川県立伝統産業工芸館/金沢市)

・引持玉緒 (HIKIMOCHI Tamao)

- 1965 大阪府生まれ
 - 2008 北陸先端科学技術大学院大学・石川伝統工芸イノベータ養成ユニット参加
 - 2011 石川県伝統産業商品提案力事業参加
 - 2013 石川県伝統産業次世代リーダー塾参加
- 現在、輪島塗ぬり工房楽LaQueで新商品企画開発を担当

受賞歴

- 2010 いしかわブランド認定 リメイク漆器・輪島塗手塩皿TSUBAKI
2011 いしかわブランド認定 輪島塗練乾漆KOKEMUSU酒器シリーズ
2012 石川県産業活性化ファンド採択
2013 「練乾漆」商標登録
石川県デザイン展 石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会理事長賞
現在、「KOKEMUSU」ブランド化に取り組む

個展・グループ展

- 2010 「ココがスゴイ！伝統工芸イノベータ展」（石川県伝統産業工芸館）
2012 「練乾漆・今様の輪島塗展」（日本橋三越本店）
「石川展」（Japan Society NY）
2014 「酒器」（東京ドームシティ・プリズムホール）
JAPAN EXPO PARIS/WABISABI ブース 出展

・久恒俊治 (HISATSUNE Toshiharu)

- 1950 和歌山県生まれ
1970 金沢工業大学入学
1973 加賀友禅作家鶴見保次工房に入門

日々の生活にお使い頂けるよう様々な素材に加賀友禅染めを試みています。現代に調和した新しい工芸品を作るモノづくりに取り組んでいます。

受賞歴

- 1995 木に手描きで友禅を施した『友禅夢樹』が「石川県新技術開発交流展」にて金賞受賞。石川ブランドに認定される。
2006 友禅シート石川ブランド・金沢ブランド認定
2008 金箔手描加賀友禅が石川ブランド・金沢ブランドに認定される
2009 石川デザイン展にて友禅テレビボード『せせらぎ』入賞

個展・グループ展

- 2013 石川さんカフェ『友禅のある暮らし』展にて個展
2013 金沢城河北門『彩の言ノ葉』展にてクリスタル友禅皿約400枚展示
2014 『三越春の逸品会』にて天女の羽衣手描加賀友禅染ショール出展

・廣瀬由利子 (HIROSE Yuriko)

- 1967年 石川県金沢市生まれ
関西学院大学・大学院でキリスト教美術史を学ぶ

現在、株式会社自遊花人代表取締役として、水引工芸品の制作と販売を行っている。

受賞歴

- 2004 石川県デザイン展奨励賞受賞
2005 工芸都市高岡 2005年クラフト展にて審査員賞ほか受賞
金沢市工芸展入選

個展・グループ展

- 2012 「クリスマス&お正月飾り」（金沢 モノトヒト）
2013 「生活工芸/金沢 2013」（東京 代官山 T-SITE ガーデンギャラリー）
「水引 和のこころ・和のかたち」（東京 ガレリイ キルシュ）
2014 「寿ぎのかたち」（金沢 自店ギャラリー）

2014 「五月のしつらい 花・水引」 (金沢 石川国際交流サロン)

・宮崎岳志 (MIYAZAKI Takeshi)

1970 長野県生まれ
1991 国立高岡短期大学産業工芸学科卒業
2002 金沢美術工芸大学工芸科科目等履修生修了
2005 金沢卯辰山工芸工房修了

現在、石川県志賀町にて創作

受賞歴

2002 工芸都市高岡クラフトコンペ入選
2003 全国伝統的工芸品公募展入選
2005 金沢市工芸展 伝統産業振興協議会会長賞
2003-2005 石川の伝統工芸展入選

個展・グループ展

2011 「型染めの仕事」(高岡市 ART WORK STUDIO -AN)
2012 「染色と銅版画・二人展」(金沢市 金沢クラフト広坂)
2013 「空間を仕切る」(金沢市 石川県立伝統産業工芸館)
2014 「山川草木・型染めの仕事展」(南砺市 じょうはな織館)

・目細勇治 (MEBOSO Yuji)

1968 金沢市生まれ
1987 石川県立工業高校電気科卒業
株式会社大和紡績金沢工場入社
1990 株式会社竹の皮屋入社
1995 株式会社 目細八郎兵衛商店入社

現在、加賀毛針の老舗、目細八郎兵衛商店の二十代目として活動している。加賀毛針の伝承の為、毛針釣をしない人にも加賀毛針の美しさを知ってもらおうと、毛針アクセサリーを考案し、さまざまな、毛針アクセサリーのデザインを手がけるとともに、制作も行っている。

・森内瑞恵 (MORIUCHI Mizue)

1958 石川県生まれ
1977 石川県立羽咋工業高校デザイン科卒業
加賀友禅作家、百貫俊夫氏に師事
1989 独立、
2010 北陸先端科学技術大学院大学・石川伝統工芸
イノベーター養成ユニットに参加

現在、加賀友禅、模様師としてデザイン、染色、縫製(一部を除く)までの一貫制作で商品を作っています。

受賞歴

1991 '91 女流美術展 「奨励賞」受賞
1996 加賀友禅いろどり会 「大和社長賞」受賞
加賀友禅新作競技会 「金沢商工会議所会頭賞」受賞
1997 加賀友禅選抜女流作家新作競技会 「最優秀賞」受賞

グループ展

- 2010 「平成友禅商店」グループ展 (金沢クラフト広坂)
2011 「IFFT/インテリアライフスタイルリビング」 (東京ビックサイト)
2013 「暑気わらい」グループ展 (金沢野村右園堂 2F 紺屋坂ギャラリー)
2014 「東京インターナショナル・ギフト・ショー」 (東京ビックサイト)

・ **山谷尚敏 (YAMATANI Naotoshi)**

- 1963 石川県加賀市山中温泉生まれ
北陸大谷高校卒

受賞歴

- 第27回石川県デザイン展 銀賞
インターナショナルギフトショーインテリアコンテスト 準大賞

・ **吉岡正義 (YOSHIOKA Masayoshi)**

- 1971 金沢市生まれ
1990 石川県立工業高等学校工芸科卒業
1992 石川県立九谷焼技術研修所卒業
現在、入江にて陶庵を主宰。陶芸教室、カフェ & ギャラリーを運営。

受賞歴

- 2014 第70回記念金沢市工芸展 金沢工芸協会会長奨励賞受賞

個展・グループ展

- 2009 吉岡正義展 (個展/日本橋高島屋 / 東京)
2011 吉岡正義展 (個展/めいてつエムザ/ 金沢)
2012 生涯学習フェスティバル「金沢九谷展」(韓国利川)
米文化フェスティバル「金沢九谷展」(韓国利川)
2013 「Exhibition」(個展 / JENGGARA KERAMIK/インドネシア・バリ島)